

地籍調査事業の進捗加速を求める請願

令和 8 年 5 月 28 日

青森市議会議長 奈良岡 隆 様

青森市大字入内字駒田 47 番地 3  
中川 富子 外 2 名

紹介議員 大矢 保

(請願の趣旨)

地籍調査は、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、正確な境界の位置と面積を確定するものである。それにより、土地境界等のトラブルを未然に防ぎ、土地の資産価値を高め、災害発生時でも、土地境界の迅速な復旧復元に極めて役立つものであり、土地に関する最も基礎的かつ重要な調査であると言われている。しかし、全国的な進捗は思わしくない。

地籍調査は、昭和 26 年から行われ、既に 70 年以上を経過したにもかかわらず、令和 6 年度末時点における全国の進捗率は 53% と極めて低い実施状況である。その中であって青森県の実施状況は 93% と際立って高い。これは佐賀県、沖縄県に次ぐ全国 3 番目の高進捗率である。しかも、県内 40 市町村のうち、75% の 30 市町村で既に完了している。

しかし、県都青森市は、残念ながら県内市町村の中の最下位で 59% である。確かに対象面積が県内一広く、長い実施期間を要することは理解するとしても、市民一人一人の利便性を享受する権利は、地域に格差なくひとしくあるべきである。弘前市の 91%、八戸市の 77% に比べて、地籍調査への熱意が感じられない。また、青森市の地籍調査状況を見るにおいて、実施箇所が点在し、規則性が乏しく感じられ、調査実施方針に疑問が残る。早期に、市全体の実施計画を公表し、地図混乱地域の解消、所在地及び境界の明確化のために透明性をもった方針で推進すべきである。

ついては、青森市の地籍調査の進捗率を高めていただくことを望むものである。

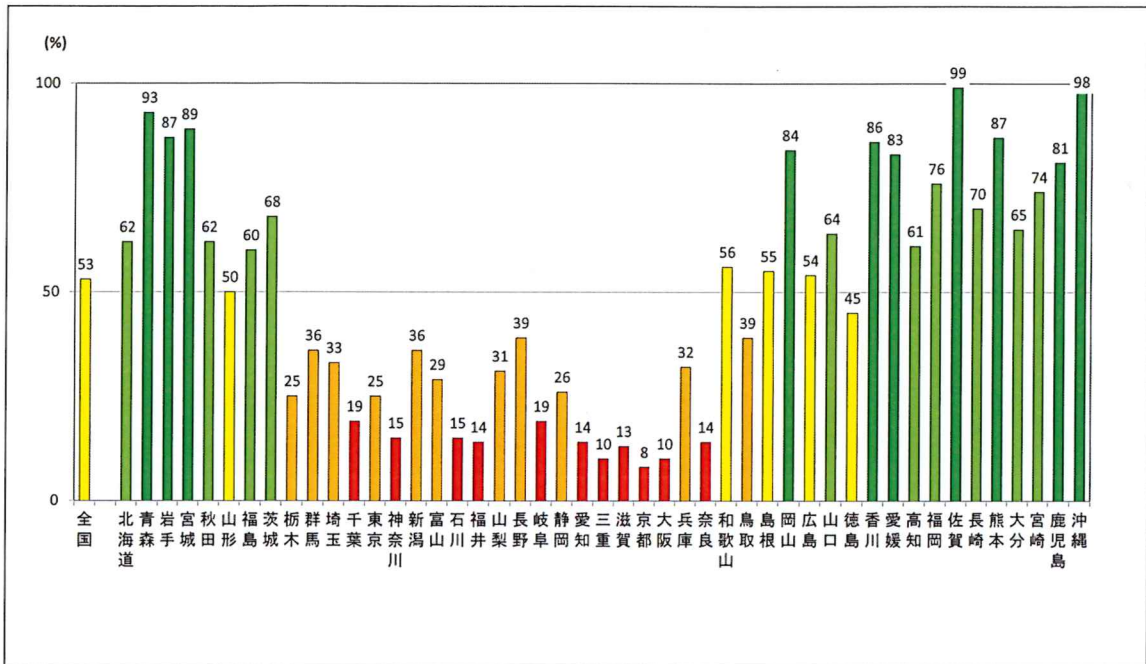
(請願事項)

本市の地籍調査事業の進捗を加速させること。

# 全国の地籍調査の実施状況

地籍調査進捗率(令和6年度末時点、令和7年6月調べ)

## 地域ごとの実施状況



## 地籍調査への着手の状況

着手類型	市町村数	割合(%)
完了	608	35
実施中	821	47
休止中	209	12
未着手	103	6
合計	1,741	-

# 地籍調査状況マップ 青森市

